

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年03月01日

計画の名称	通学路の安全・安心を確保する基盤整備計画（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	相模原市												
計画の目標	通学路における歩道整備や無電柱化等を進め、児童が安全で安心して通学できる道路環境を形成する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	13,376	A	13,376	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H33末)
1	第10次相模原市交通安全計画の計画目標「平成32年度までに全交通事故件数を2,520件以下にする。（毎年2%の減少）」を達成するため、通学路交通安全プログラム等によって抽出された要対策箇所への対策済率を5箇年で60%にする 通学路交通安全プログラム等によって抽出された要対策箇所に対する対策済率 (要対策箇所の対策済率) = 通学路安全対策実施済箇所数(箇所) / 通学路の要対策箇所数(箇所)	0%	%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	交安	(都)相模原町田線・J R相模線立体交差区間	道路拡幅 L=0.1Km	相模原市						116	-	
	「さがみ縦貫道路IC関連事業」から移行、「相模原市麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業」で踏切除去、立体交差を実施																		
	A01-002	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府 県道	交安	(主)相模原茅ヶ崎・上 溝	無電柱化 L=1.5Km	相模原市						592	-	
	「安全・安心な暮らしを支える基盤整備計画(防災・安全)」から移行																		
	A01-003	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府 県道	交安	(主)町田厚木・ロビー シティ前	立体横断施設の整備 L=0.2K m	相模原市						1,679	-	
	「安全・安心な暮らしを支える基盤整備計画(防災・安全)」から移行																		
	A01-004	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府 県道	交安	(一)長竹川尻・稲生	歩道整備 L=0.3Km	相模原市						470	-	
	「安全・安心な暮らしを支える基盤整備計画(防災・安全)」から移行																		
	A01-005	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府 県道	交安	(一)相武台相模原・麻 溝台8丁目交差点	交差点改良 L=0.14Km	相模原市						1,335	-	
	「安全・安心な暮らしを支える基盤整備計画(防災・安全)」から移行																		
	A01-006	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村 道	交安	(市)上鶴間360号	歩道整備 L=0.61Km	相模原市						85	-	
	「安全・安心な暮らしを支える基盤整備計画(防災・安全)」から移行																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村道	交安	(市)小山66号ほか	歩道整備 L=1.2Km	相模原市						1,224	-	
	「広域的な交流や都市力を高める基盤整備」から移行																		
	A01-008	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府県道	交安	(一)鍛冶谷相模原・上大島	歩道整備、線形改良 L=0.11Km	相模原市						10	-	
	A01-009	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府県道	交安	(一)相模原大磯・九沢橋	交差点改良 L=0.3Km	相模原市						480	-	
	A01-010	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府県道	交安	(一)山北藤野・日連	歩道整備 L=0.44Km	相模原市						776	-	
	A01-011	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村道	交安	橋本地区内生活道路	交通安全対策 1式	相模原市						5	-	
	A01-012	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村道	交安	(市)若松・文京交差点	交差点改良 L=0.3Km	相模原市						999	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-013	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府 県道	交安	(主)鍛冶谷相模原・田 名	交差点改良 L=0.45Km	相模原市						650	-	
	「安全・安心な暮らしを支える基盤整備計画(防災・安全)」から移行																		
	A01-014	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	国道	交安	(国)413号・二本松	交差点改良 L=0.24Km	相模原市						1,155	-	
	「広域的な交流や都市力を高める基盤整備」から移行																		
	A01-015	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村 道	交安	自転車通行環境整備事業	自転車通行空間の整備	相模原市						200	-	
	A01-016	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府 県道	交安	(一)相模原大磯・上四 谷工区	交差点改良 L=0.8km	相模原市						1,633	-	
	A01-017	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村 道	交安	(市)淵野辺中和田	交差点改良 L=0.3km	相模原市						956	-	
	「広域的な交流や都市力を高める基盤整備(第二期)」から移行																		
	A01-018	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	交安	(都)橋本相原線・西橋 本	交差点改良 L=0.27km	相模原市						808	-	
	「広域的な交流や都市力を高める基盤整備(第二期)」から移行																		
	A01-019	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村 道	交安	星が丘地区内生活道路	交通安全対策 1式	相模原市						4	-	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R02	R03
配分額 (a)	172	126	295	389	154
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	172	126	295	389	154
前年度からの繰越額 (d)	0	20	4	123	133
支払済額 (e)	152	142	176	379	214
翌年度繰越額 (f)	20	4	123	133	73
うち未契約繰越額(g)	18	0	109	40	46
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	10.46	0	36.45	7.81	16.02
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	現場着手にあたり、地元との調整に時間を要したため		他企業者との調整に時間を要したため		地権者との交渉に時間を要したため

事前評価チェックシート

計画の名称： 通学路の安全・安心を確保する基盤整備計画（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合が図られている。（計画名 国土形成計画全国計画、社会資本整備重点計画、新・相模原市総合計画）	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合が図られている	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合が図られている	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性、円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 全体事業費、要素事業の額が適切である	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施のための環境整備が図られている	○

(参考図面)

